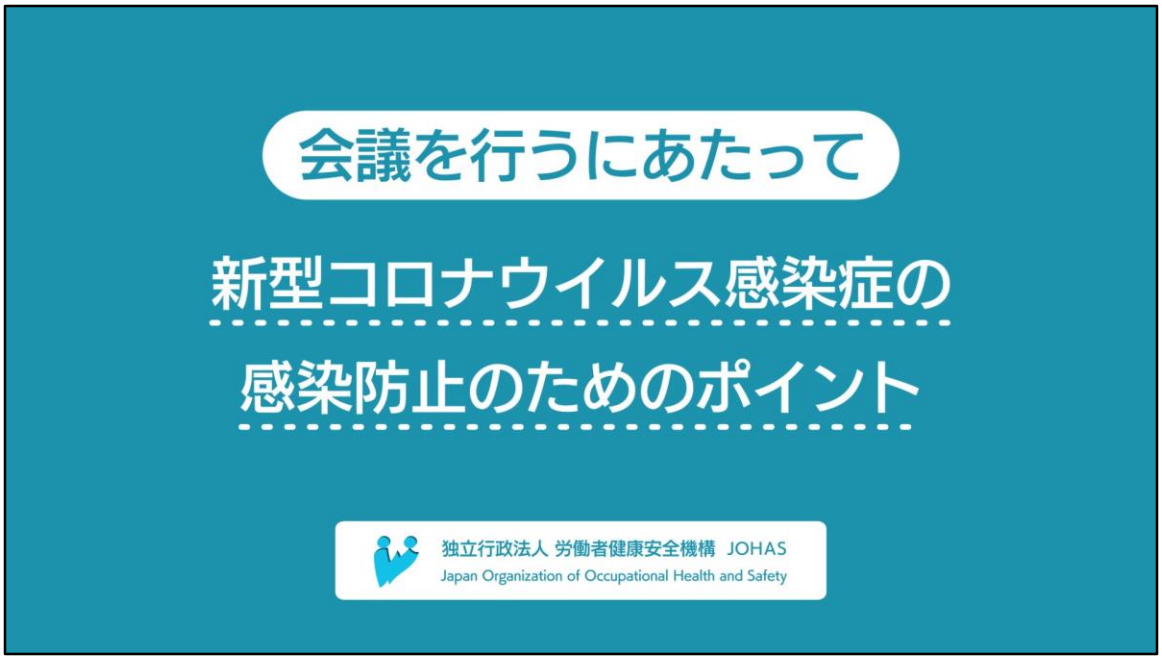
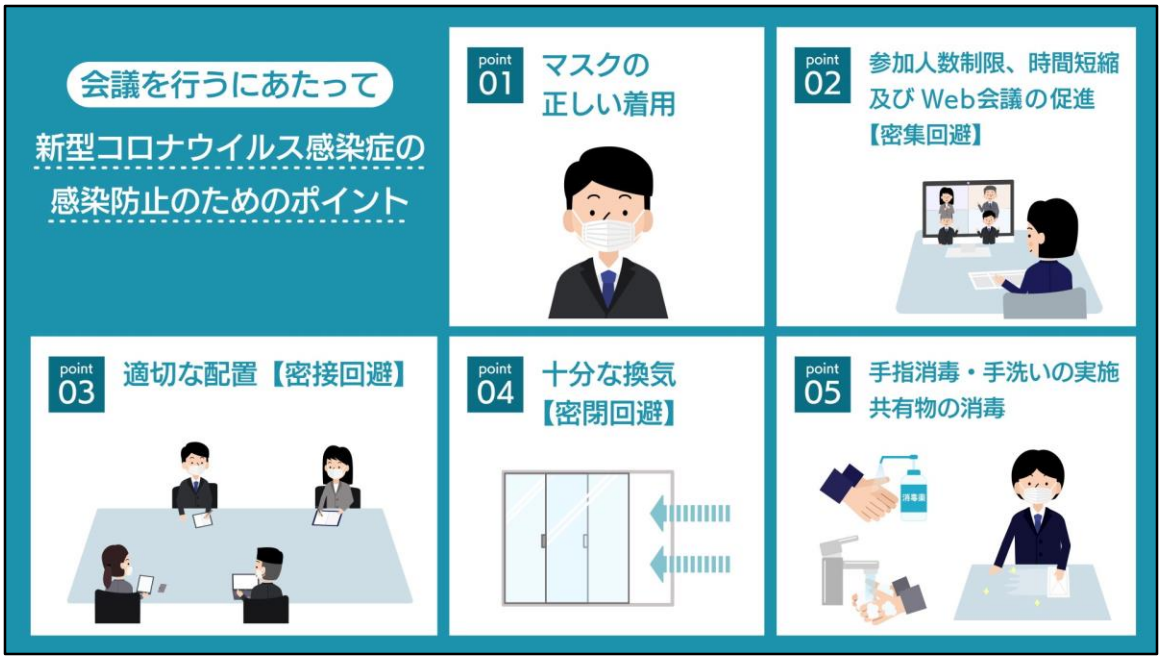
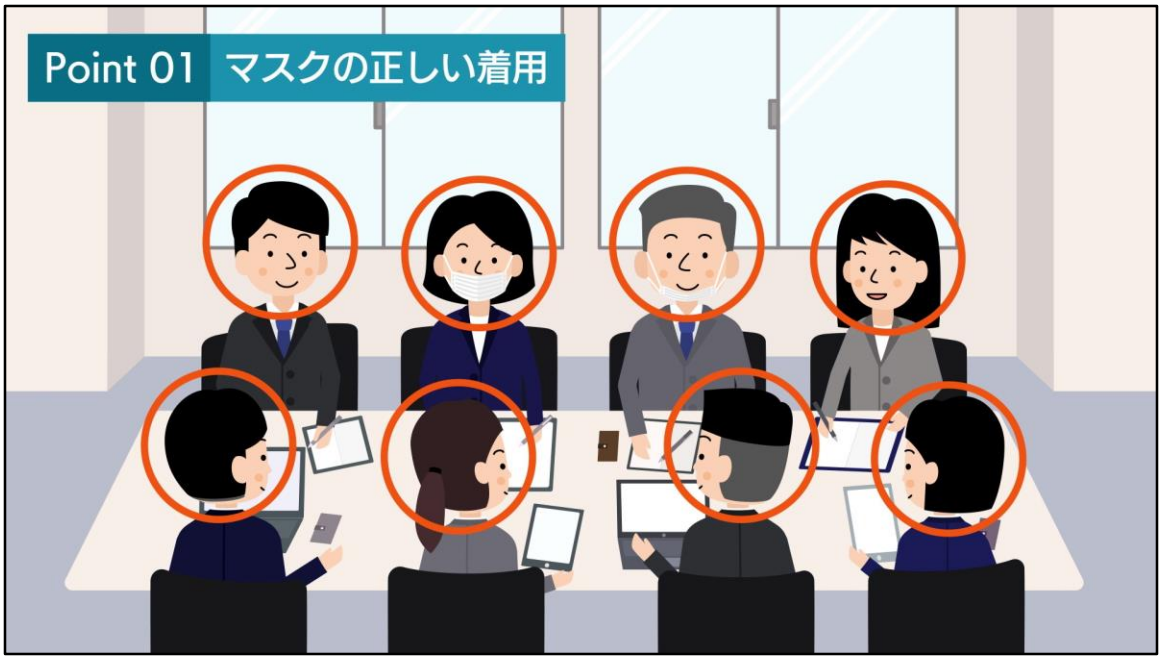


「会議を行うにあたって 新型コロナウイルス感染症の 感染防止のためのポイント」

コロナ禍における、 ある企業の 会議の場面です。 感染リスクを下げるために、 どこに注意したら いいでしょうか ？気になることはありませんか ？この場面の中には気になる点が 4つあります。15秒間、さがして みてください。



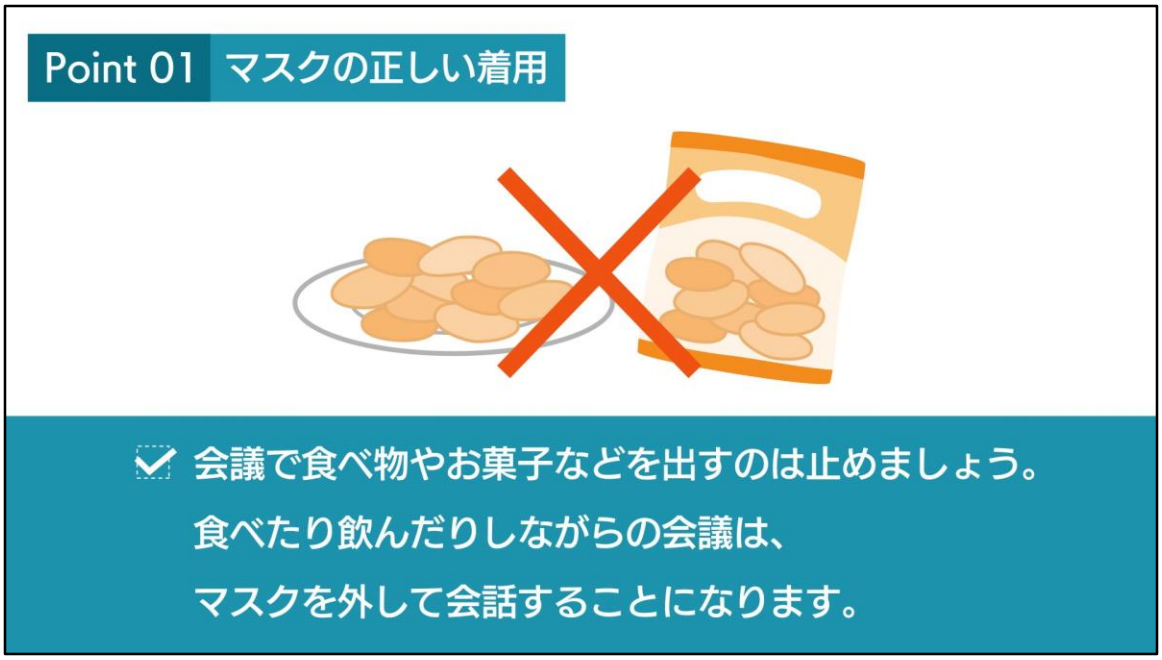
わかりましたか ?会議を行うに あたって、注意すべき感染防止 のためのポイントは5つあります が、そのうち 4 つの注意すべき 点がこの場面にはありました。こ れらのポイントを順に説明します。



気になる点の１つめは、マスク の正しい着用です。みな、 きちんとマスクを つけていません でしたね。これではいけません。

これは、会議での感染防止のた めのポイントの１つめで、一番、 大切なことです。対面での会議 や打合せでは、かならず正しくマ スクをつけましょう。

鼻や口が出ていれば、ウイルス をまきちらしたり、吸い込んだりし てしまいます。マスクで口と鼻を しっかり覆いましょう。正しいマス クの着用方法は、Youtubeの 厚生労働省チャンネルなどを参 考にしてください。

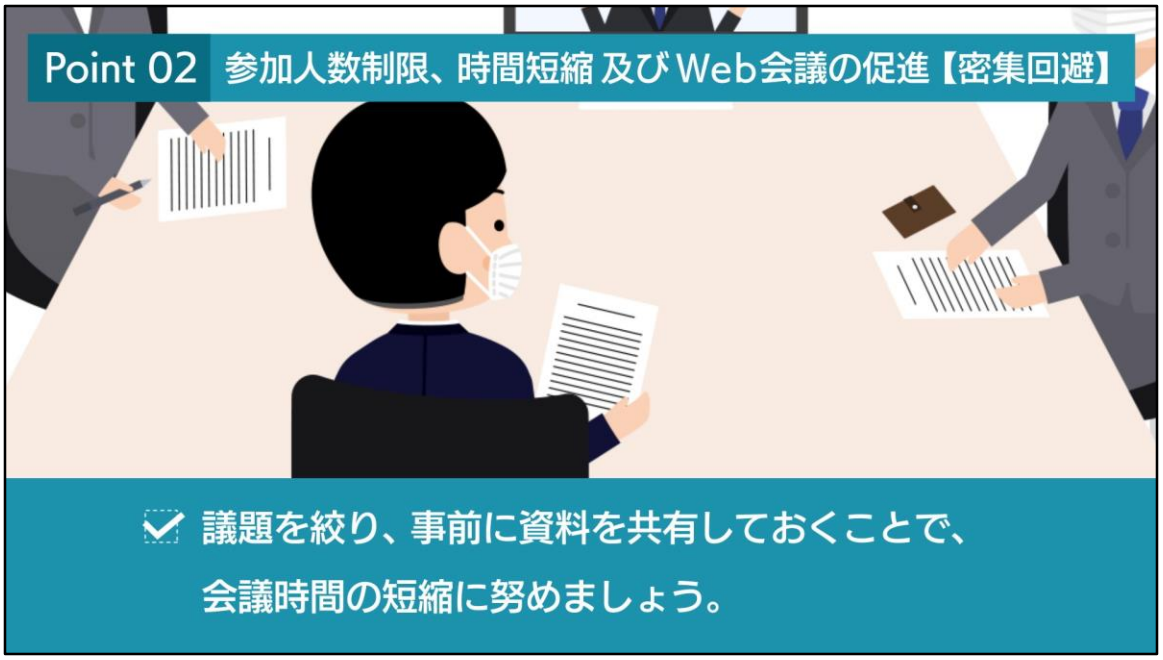


また、会議で食べ物やお菓 子などを出すのは止めましょう。 食べたり飲んだりしながらの会 議は、マスクを外して会話す ることになります。 必ず避けてください。

気になることの 2 つめです。 参加人数が多いので、減らし ましょう。これは会議での感 染防止のためのポイントの 2 つめです。

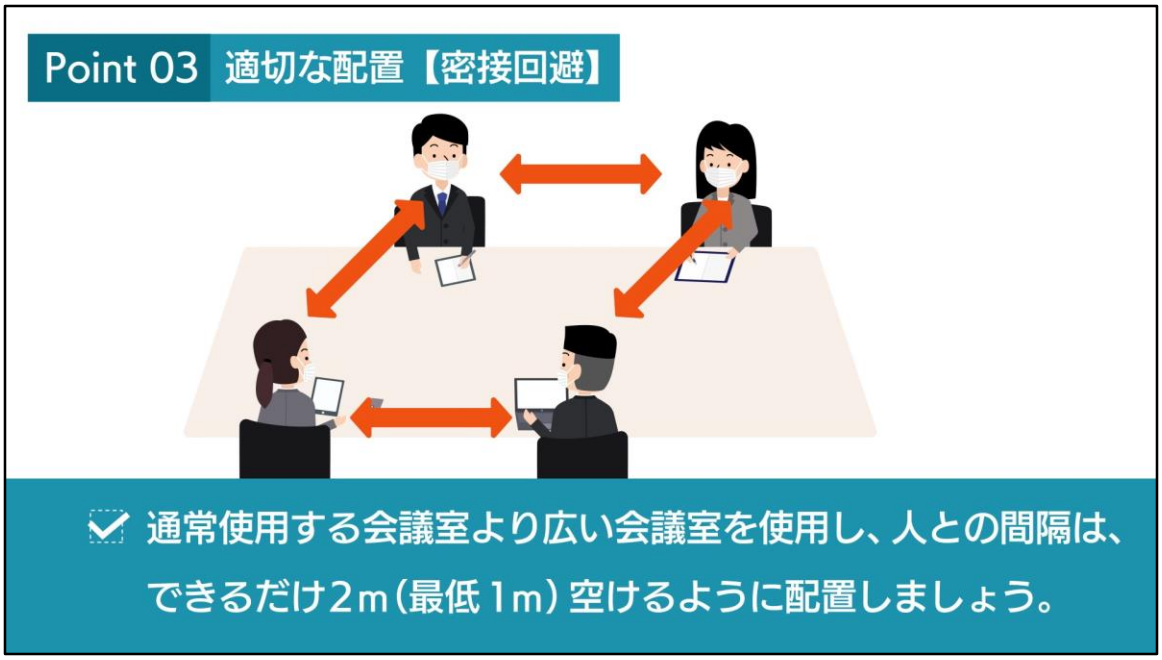
密集を回避することが大切で す。まずテレビ会議やＷｅｂ 会議の活用等により、人が 集まる形での会議等をなるべ く避けるようにしましょう。

また、できるだけ同じ会議室 の参加人数を減らしましょう。

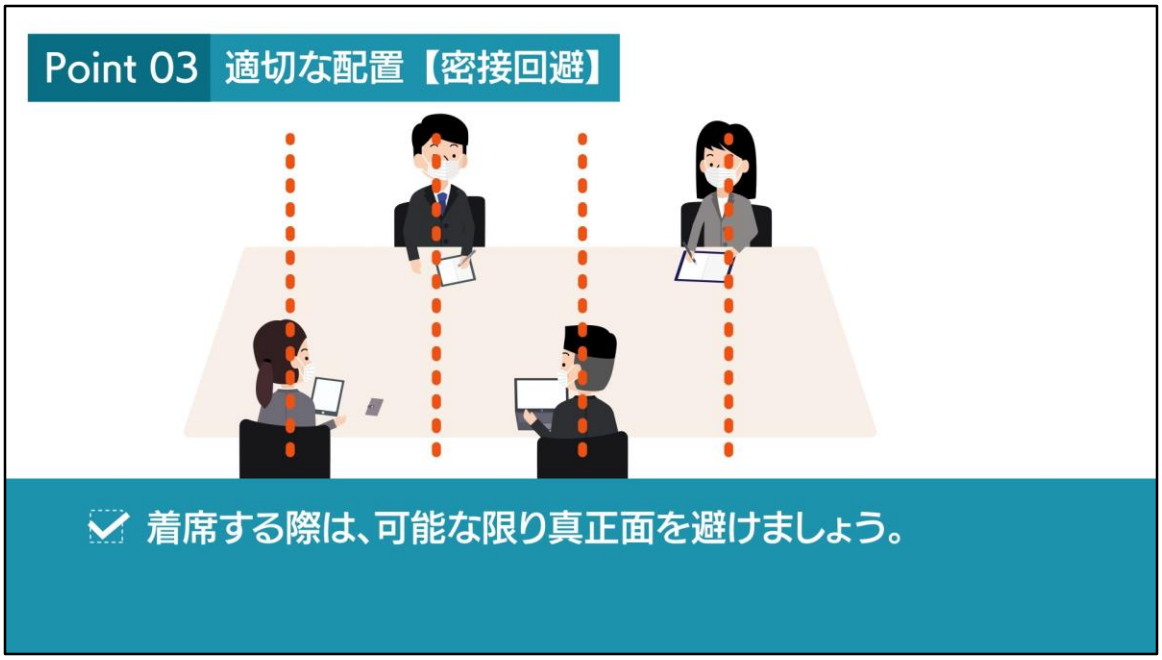


そして、議題を絞り、事前に 資料を共有しておくことで、会 議を短くしましょう。人数と時 間を減らすことで感染リスクが 下がります。

気になることの３つめは、お 互いの距離が近すぎる事で す。



密接を回避しましょう。通常 使用する会議室より広い会 議室を使用し、人との間隔 は、できるだけ２メートル、少 なくとも１メートルは空けるよ うに配置しましょう。

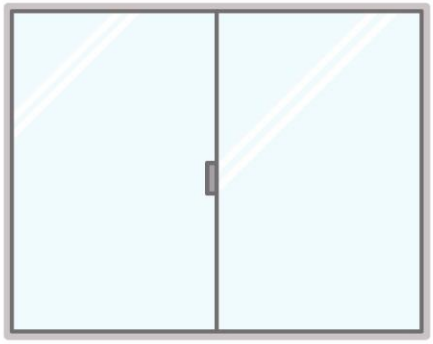


そして、着席する際は、可能 な限り、真正面を避けましょう。

気になることの４つめは、窓 があいていないことです。

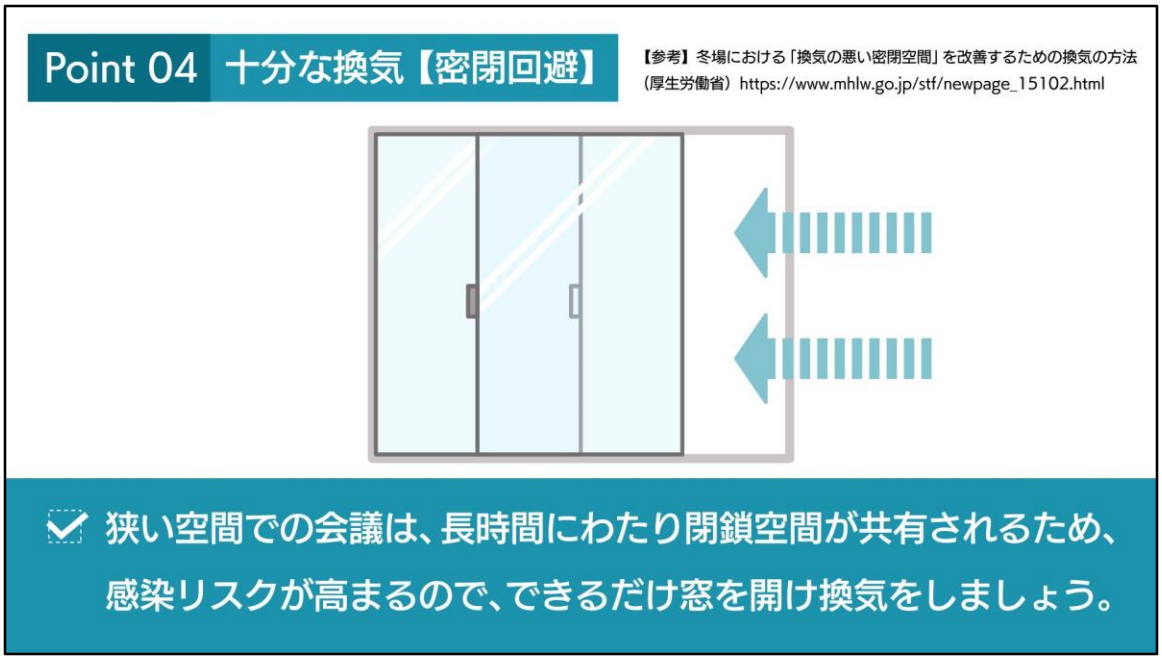
Point 04 十分な換気【密閉回避】

【参考】冬場における「換気の悪い密閉空間」を改善するための換気の方法
（厚生労働省）https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_15102.html

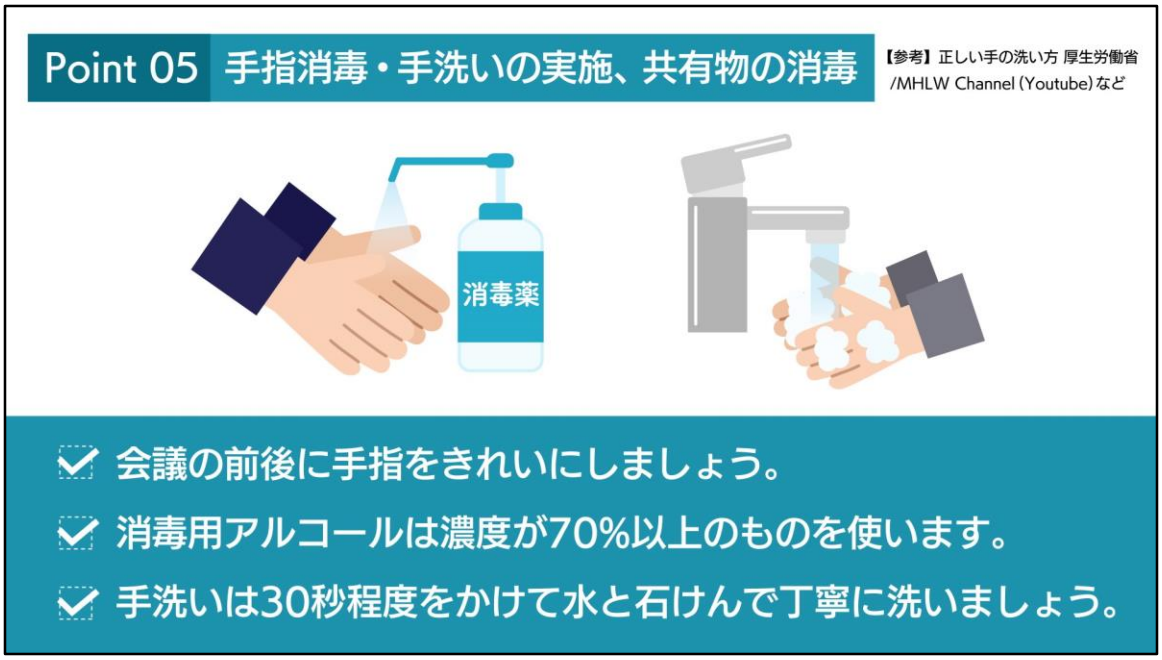


☑ 狭い空間での会議は、長時間にわたり閉鎖空間が共有されるため、
感染リスクが高まるので、できるだけ窓を開け換気をしましょう。

密閉を回避しましょう。狭い 空間での会議は、長時間に わたり閉鎖空間が共有され るため、感染リスクが高まるの で、できるだけ窓を開け換気 をしましょう。



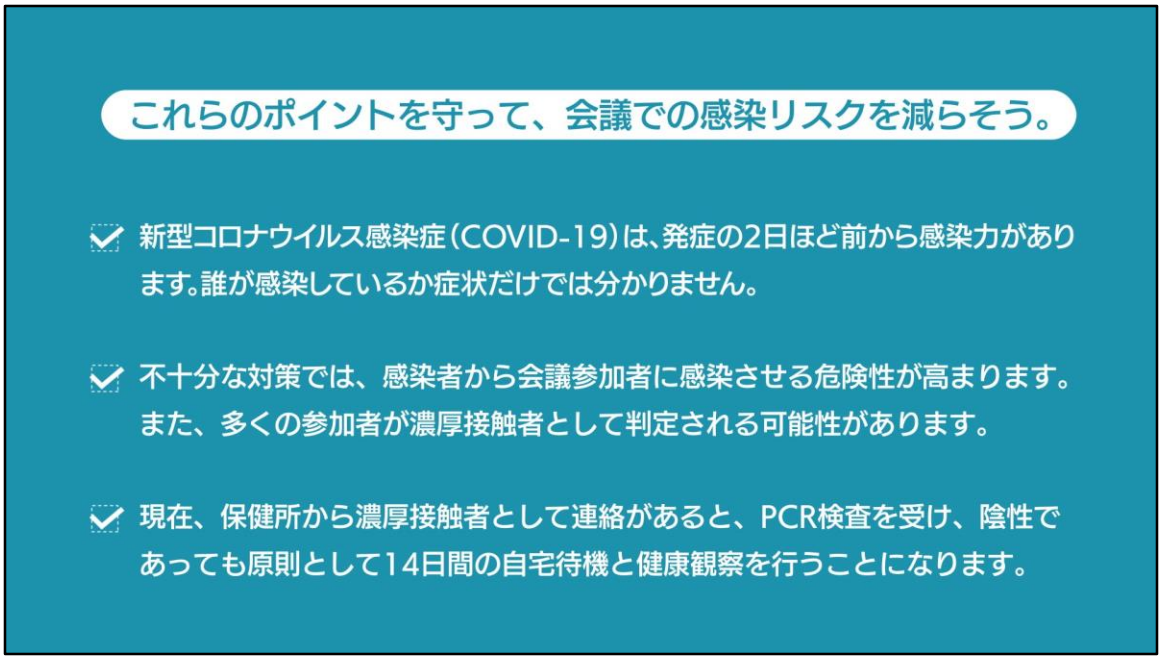
冬場の換気方法については 厚生労働省から案内がださ れていますので、ご活用くださ い。



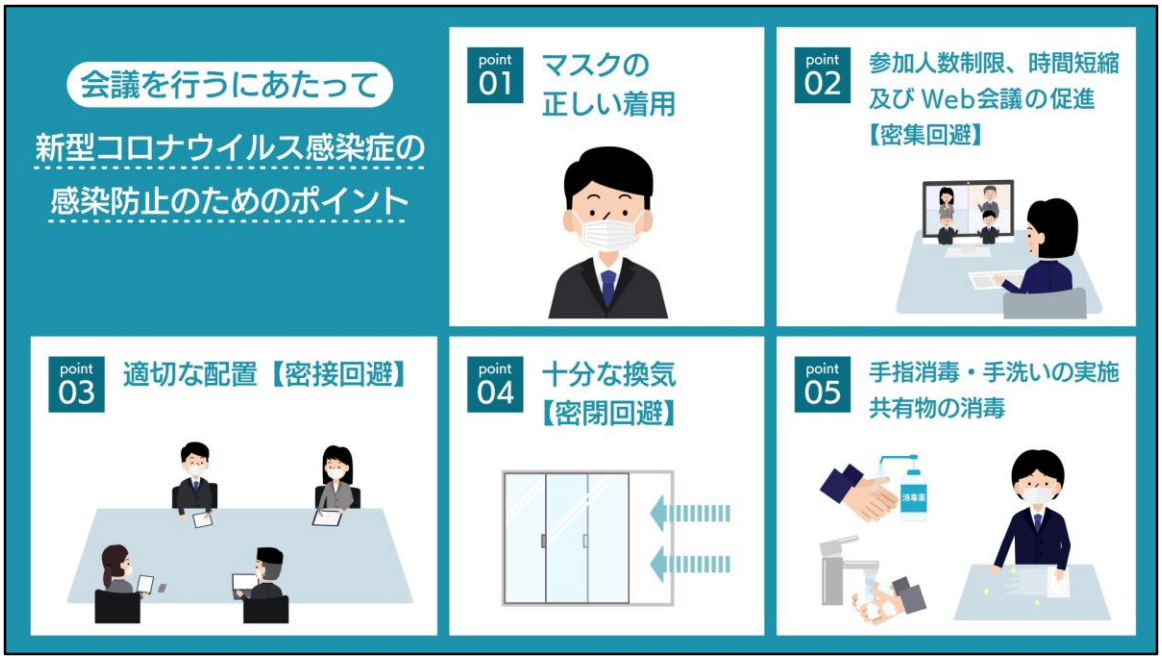
会議での感染予防のポイント トの5つめは、手指消毒・手 洗いの実施です。会議の前 後に手指をきれいにしましょう。 消毒用アルコールは濃度が 70%以上のものを使います。 手洗いは30秒程度をかけて 水と石けんで丁寧に洗いましょう。

また会議机などの。共用のも のは使用者が使用後にふき とりましょう

これらポイントを対策すると このようになります。

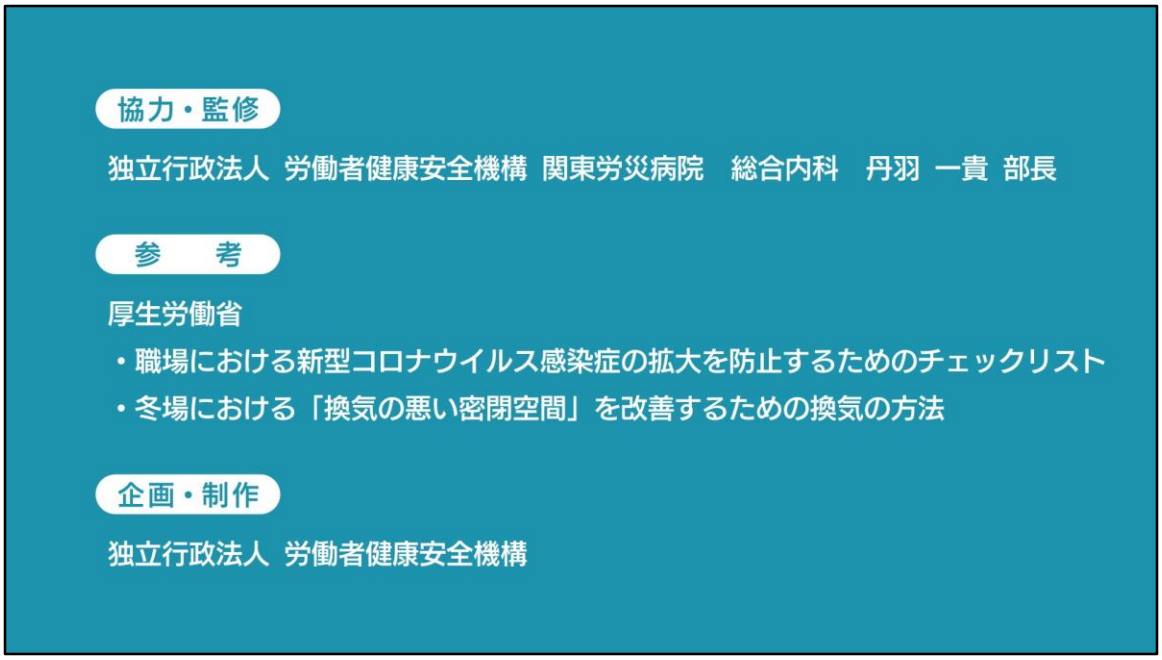


新型コロナウイルス感染症 （COVID-19）は、発症の 2日ほど前から感染力があり ます。誰が感染しているか症 状だけでは分かりません。 ・不十分な対策では、感染 者から会議参加者に感染さ せる危険性が高まります。ま た、多くの参加者が濃厚接 触者として判定される可能 性があります。 ・現在、保健所から濃厚接 触者として連絡があると、 PCR検査を受け、陰性で あっても原則として 14日間の自宅待機と健康観察を行 うことになります。



以上、会議を行うにあたって の感染リスクを下げる5つのポ イントを紹介しました。マスク の正しい着用、手指消毒や 手洗いの実施、密接、密集、 密閉のサン密の回避と共有 物の消毒です。

詳しくは、厚生労働省からだ されている、職場における新 型コロナウイルス感染症の拡 大を防止するためのチェックリ スト、などを参考にしてくださ い。



制作は独立行政法人労働 者健康安全機構でした。

独立行政法人 労働者健康安全機構 JOHAS

Japan Organization of Occupational Health and Safety